

平成23年度 いいたてホーム医務室事業報告書

1) 利用者及び職員の健康管理

健康診断について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 年2回の定期健診を福島県労働保健センターの協力の下、当施設内で行われた。 ➤ 入居者：1回目 平成23年7月28日 106名受診 総数108名中2名入院 2回目 平成24年2月24・27日 96名受診 総数98名中2名入院 職員：1回目 夜勤勤務を伴う介護職員42名受診 2回目 63名受診 うち49名は全国健康保険協会、管掌健康保険での健診となった。 * 職員の健診結果については、個々に通知された結果を基に相談又は受診の勧めをすることでフォローした。 腰痛検診：夜勤勤務を伴う職員については年1回の腰部 X-P と年2回の医師の診察を行った。 いずれも要精密検査対象はゼロであった。
口腔ケアについて	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 委員会と協力し、必要物品の発注と整備を行った。 流通がままならない時点では、利用者間で物品を融通しあうことで、たとえ終末期でも感染症などなく送ることができた。
感染症について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ インフルエンザ感染については入居者はゼロ。 ➤ インフルエンザB型については職員1名であった。 ➤ 換気ができない状況の中で、他に感染症を発症した例も無い。 職員全体の意識・清潔に対する日々の積み重ねと、空気清浄機が設置されたことが相まって効果を成したと思われる。
健康教育について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 6月以降は通常の定例会も行われ、その全大会の中で、『なんでも勉強会』を行い、疾患のみならず体調の自己管理部分に着眼し行ってきた。 ➤ 介護現場で役立つような知識・情報を習得するため研鑽した。
受診について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 震災直後の停電の中での転倒・骨折という事故があった。73日間の入院治療を余儀なくされたが、退院後は施設に戻られ生活されている。 ➤ 震災後クリニックは閉鎖。広域の病院への受診もままならない状態であった。内服薬について、当初はアイン薬局が継続してくれたこと、機能していない病院の不足分は、福島市内で処方を受けしのでいた。幸いだったのは、急変や直ちに入院を要する入居者が出なかったことである。 ➤ 重症度の高いご利用者については、医師と連携を図り、家族への病状説明など適宜行って頂いた。本人及び家族の希望を叶えられるよう努力した。

2) 終末期ケア

看取りについて	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 池田医師が担当になって以降、深夜の看取りについては速やかに対応できた。避難されている家族の状況も把握した上で、連絡を密にとり、信頼関係も構築された。その時々注目すべき人に、厨房をはじめ全スタッフで関わることができた。 ➤ 点滴や吸引など、不可欠かつ慣れないことに躊躇せず取り組むことができた。
---------	---

3) 緊急時の対応

定期的な勉強会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 開催はできていない。 ➤ 震災時に於ける対応については再度見直す必要あり。
------------	--

《入院状況》

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計			
	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数		
南相馬市立											1	17	1	31			1	10	1	31	1	29	1	19	6	137		
小野田											1	6	1	14												2	20	
渡辺																												
医大	1	30	1	24																						2	54	
大町					1	11	2	16	1	4			1	8	1	20	2	27	2	55						10	141	
あづま	2	18	1	31	2	30	3	54	3	72	4	76	3	58	2	18										20	357	
日赤															2	9	2	59	1	23							5	91
済生会			1	18					1	12																2	30	
雲雀ヶ丘	1	30	1	31	1	30																				3	91	
第一病院											2	30	2	55	1	10										5	95	
村上病院																	1	20	1	31	1	29				3	80	
相馬公立																			1	15	1	27				2	42	
計	4	78	4	104	4	71	5	70	5	88	8	129	8	129	8	57	6	116	6	155	3	85	1	19	60	1,138		

この一年で13名の看取りに向き合いました。

ここに居る誰もが、なんでもない日常を送りながら最期を迎えて欲しいと思います。

それでも、『老いる』ということ麻痺させないように、

そして、『死』というものに鈍感にならないように・・・

私達はこれからも同じです。

ここを離れるなど、夢にも思っていないこの入居者と共に歩いていきたと思います。